



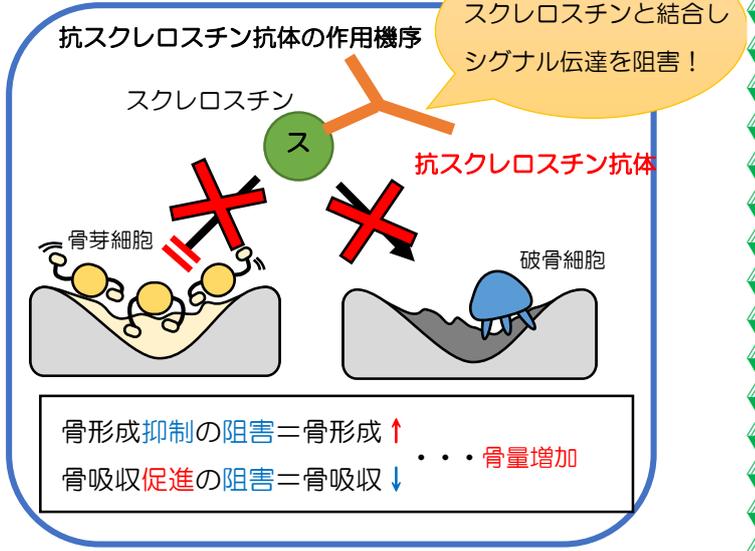
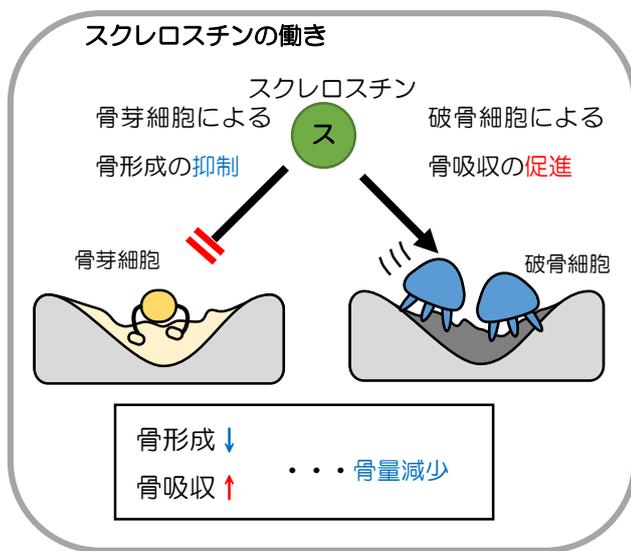
おくすり通信

No. 54 抗スクレロスチン抗体～骨粗鬆症治療薬～

こんにちは、薬剤科です。今回は骨形成促進作用と骨吸収阻害作用を併せ持つ抗スクレロスチン抗体というお薬についてご紹介します。

《抗スクレロスチン抗体の作用機序》

スクレロスチンは骨細胞から分泌される物質で、骨形成を抑制するとともに骨吸収を促進することで骨量を減少させます。このスクレロスチンの働きを阻害し、骨量を増加させるお薬がヒト化抗スクレロスチンモノクローナル抗体です。抗スクレロスチン抗体は骨形成促進作用と骨吸収阻害作用を併せ持つことから、デュアル・エフェクト（2つの作用）を有する薬剤として注目されています。



《治療薬の特徴》

抗スクレロスチン抗体であるロモソズマブ(イベニティ)は、骨折の危険性の高い骨粗鬆症に対するお薬です。

一般名	商品名	特徴
ロモソズマブ	イベニティ皮下注 105mg シリンジ	月に1回、外来にて皮下注射 投与期間は12ヶ月まで

1回に2本注射！

投与期間は12ヶ月までとされ、イベニティ終了後は新たに骨吸収阻害薬による治療が開始となります。投与終了後に治療をおこなわないと骨量が減少してしまい、骨折リスクが増大することが報告されているため、適切な治療を継続しましょう。また、治療が始まった場合は自己判断で通院を中断するようなことはせず、必ず受診をしましょう。

一生の内たったの12ヶ月しか使えないお薬！
確実に毎月治療を受けましょう！！

《注意すべき副作用》

イベニティは心血管障害（心筋梗塞、脳梗塞など）の発現リスクの高い患者には注意が必要です。治療期間中に胸痛、冷汗、意識低下などがみられる場合は、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

また、特徴的な副作用に顎骨壊死があり、定期的な歯科検診や口腔内を常に清潔に保つことが必要です。

歯肉の腫れ、痛み、顎のしびれなど違和感がある場合は、早めの受診をお勧めします。

そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。